

## 坂出市健幸のまちづくり推進協議会（第2回） 議事録

日時：令和5年8月23日（水）14：00～

場所：坂出市役所 本庁2階 大会議室

- 1 開会
- 2 議題
  - (1) 市民アンケートの素案について
  - (2) 今後のスケジュールについて
- 3 閉会

○事務局 ただいまから令和5年度第1回坂出市健幸のまちづくり推進協議会を開催させていただきます。協議会の開催にあたりまして、健康福祉部長より一言ご挨拶を申し上げます。

○健康福祉部長 本日は天候が不順の中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。新型コロナウイルスの感染拡大から3年余りが経過いたしまして、定点観測によりますと、香川県のほうは高止まりしているような状況がございますが、今年夏休みには久しぶりに旅行に出かける方もおられたり、また坂出市におきましても、大橋祭りで総踊り、太鼓台、また花火大会と開催されまして、大勢の方が参加されまして、普段の生活がようやく戻ってきたかなというようなことが実感できる夏になったのではないかなと思います。

一方で、コロナ禍の間に受診機会があった反動で、健康診断などで色々な箇所が見つかった方も多いと聞いております。このように健康の大切さを実感しまして、健康への意識が高まる時期が来ていると思われまます。今回第3期になりますが、協議会ではこれから本格的に市のこれまでのデータ取りについて取組を整えまして、また次期の計画を策定していくこととなります。

本日は市民アンケート調査票の素案をもとに、委員の皆様よりご意見をいただきながら、調査票を完成させるまでいきたいと考えております。委員の皆様におかれましては、それぞれの立場から幅広い視点でのご意見を賜りますようお願いを申し上げます。簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。本日はよろしく願いいたします。

○事務局 続きまして、本協議会に参加していただいております各団体の役員異動に伴いまして、溝淵委員、入江委員、立石委員、金岡委員、丸橋委員が新たに選任されましたので、ご報告申し上げます。新たに選任されました委員の皆様から、一言ご挨拶をいただきたいと存じます。

【新任委員挨拶】

○事務局 ありがとうございます。なお本日、委員の溝渕様、三野様、齊藤様、長尾様、立石様、好井様、仲西様につきましては、所用により欠席と伺っておりますので、あらかじめご報告させていただきます。

ここで議事に入る前に資料の確認をお願い申し上げます。資料は本日の会議次第、委員名簿、配席図及び資料2、今後のスケジュールについては机上にて配布しております。また本日の資料1となります市民アンケート調査票の素案につきましては、事前に送付させていただいております。お手元に不足等がございましたら、事務局にお申しつけいただきたいと存じます。

なおこの会議は、坂出市健幸のまちづくり推進協議会傍聴要領に基づき公開すること、また本会議録についても市ホームページで公開することとしておりますので、あらかじめご了承ください。

また計画策定業務の委託先でございます株式会社サーベイリサーチセンター四国事務所の佐々木所長様にも同席を今回いただいておりますので、申し添えます。

それではこれより議事に入りますが、協議会設置要綱第4条第2項に、会長は協議会を代表し、会務を統括するとなっておりますので、会長に議長をお願いし、以降の進行をお願いいたします。

○会長 みなさん、こんにちは。議長を務めさせていただきます真鍋です。よろしく願います。本日は市民アンケート調査票の素案についての検討を行いますので、委員の皆様方の活発なご意見をいただければと思います。会議がスムーズに進行されますよう、委員の皆様方のご協力をお願いしたいと思います。

議題1 市民アンケート調査票の素案について、事務局から説明をお願いします。

○事務局 【資料説明】

○会長 ありがとうございます。各年代の質問票等がありまして、委員の皆様方には、事務局からの説明にありましたように、事前にお目通しいただいているということなので、いろいろとご意見があると思います。年代の固まりごとに見ていきたいと思いますので、5歳の保護者への質問票に関してご意見等ございますでしょうか。

○委員 1ページの間4ですが、家族構成を教えてくださいということで○をつけるようになっているのですが、2世代同居とか3世代同居とかの中に括弧で書いてある前に例等を入れたらどうかなと思うのですが、いかがでしょうか。あてはまらないということもあるかもしれないと思ひまして。

○委員 同じ項目なのですが、調査をした中で、たとえば両親が仕事で忙しいとかいう場合に、おばあちゃんとかおじいちゃん、またおじいちゃんもおばあちゃんもいない場合には、兄弟の上の方が面倒を見るとかいうようなことも多々あるかと思ひますので、家族構成の中で、主体的に子育てをする方はどなたなのかも加えていただければいいかなと思

います。

○会長 私のほうからも追加で発言させていただきたいのですが、今日、委員の皆様からはどんどん意見をいただければと思います。ただ、その意見について調査票に盛り込むかどうかということ、また委員の皆様方にお聞きしたり、あるいは多数決を取ったりというふうにすると、非常に時間がかかるとお思いますので、本日は委員の皆様方から気がついたところをどんどん出していただき、この後、委員の皆様方のご意見を参考に調査票を完成するという、事務局と会長でさせていただきたいと考えております。それについては、ご同意いただけるでしょうか。ありがとうございます。

ここで今の表現をどうするかとか、項目を入れるか、除けるかというのを決めていくと、非常に時間がかかるとお思いますので、繰り返しになりますけれど、本日は委員の皆様方からどんどん意見をいただき、よりいい調査票にしていきたいと思っておりますので、どうぞ活発なご意見をいただければというふうに思います。

○委員 6 ページの間 29 で、新型コロナウイルス感染症の時に行動を制限されたことで悪影響があったと思うものは何ですかという、これはこの回答者の影響なのかなと思ったのですが、たとえば 10 番の体重は、5 歳児のなのか、それとも回答している親のことなのかというので、迷ったのですが、これが分からなくて。4 番に喫煙量、5 番に飲酒量、働き方というのも 11 番にありますので、親のことかなと思いはしたのですが、20 歳以上の市民 3,000 名に対して、同じようなことを聞いているので、ここは親のことを改めて聞く必要があるのかなと思ったことが 1 点でございます。

それと 3 ページの間 15 で、毎食の食事で主食、主菜、副菜の 3 種類を揃えていますかというところですが、そもそもの対象が幼稚園、保育所、こども園に通う 5 歳児になられる方ということなので、昼食については給食ということもあるのではないかなと思ったので、それを選択肢に入れてもいいのではなかろうかとか、昼は聞かなくてもいいのではないかと考えました。

それと同じページの間 13 なのですが、お子さまが朝食、または夕食を一人で食べることは何日ありますかということで、ありますかで聞いているので、食べる食べないよりも、例えばないとか、週 4、5 日あるとか、そういうふうにしたほうがいいのではないかなと思いました。

○会長 私も感じる場所があって、5 歳児についての質問と保護者が回答する質問というのが混在しているように感じているところがありますので、ここも後日検討したいと思います。

また小倉先生がおっしゃったように、この 5 歳児のアンケートに回答する保護者が、一般の質問票に回答する候補者となり得るのか、なり得ないのか、そこも対象抽出の時に考えておく必要があって、もしそれを考えていなければ、5 歳児の保護者で回答した人に、一般の質問票も届くということにもなり得るので、そのあたりもどういうふうに調査対象

者を抽出していくかというところで検討したいと思います。

○委員 6 ページの間 27 ですが、健康や食生活、子育てに関する情報や知識はどこから得ていますかというところで、13 番にインターネット上のニュースサイト等とあるのですが、単にインターネットでいいのではないかと思いました。というのもインターネットで子育てや食生活の情報を見る時に、ニュースサイトとは限らないと思ったので、インターネットだけでいいのではないかと思いました。

○委員 最初に説明があったのですが、調査人数はどのような基準で決めていますか。それとこれを郵送されるのに、アトランダムに郵送されるのか、この 350 名なら 350 名を 12 校区に分けて郵送されるのか、そこはどのように考えておられるのでしょうか。この調査人数は人口から決めたものか、どういう意図で決めたものなのかが、率直に疑問になったものでお聞きいたしました。

○事務局 調査人数についてですが、5 歳、小学 5 年生、中学 2 年生、高校 2 年生においては、市の 5 歳、小学 5 年生全員、中学 2 年生全員、高校にしましては市外から通学されている方もいらっしゃるの、その方を含めてになりますけれども、全校、その学年全員の対象人数となっております。アンケート調査は学校や幼稚園に依頼して、先生に集めてもらって、市に出してもらおうというやり方を考えております。20 歳以上の市民に関しては 3,000 人となっております、こちらは前回の中間評価の数も 3,000 人で同等数で考えておまして、こちらの抽出はランダムに抽出させていただいて、郵送で送付予定となっております。

○会長 年齢階級で分けるということの理由はいかがでしょうか。国の計画に、こういった年代を調査するという事は書かれていなかったと思うのですが。前回の計画書の 25 ページを見ると、今回抽出する年代で調査をしているということがあるので、過去の調査の年代を今回も調査しますよということなのですが、最初の時に、なぜこの年代をターゲットに調査したかというのが、現段階ではちょっと分からないということのようです。他はいかがでしょうか。

○委員 7 ページの最後にお子さまの健康や子育て、食育についてのご意見ということがありますが、具体的に 5 歳児の保護者の方の意見を記入していただくということになるとと思いますが、せつくなので 0 歳児から 5 歳児の間の、苦労されていることや、ご意見もあろうかと思いますが、コメントのところに 5 歳に限らず、過去も含めたご意見を記入していただくというような書き方をした方がいいと思います。

○委員 4 ページの間 19 や間 21 で、どのようなことに注意していますかということで、何も注意していないという人が選ぶ選択肢がないと思いました。これが空欄で何も〇をつけずに返ってきた時に、答え忘れたのか、何も注意していないのかが分からないと思いました。

○委員 5 歳児ということは、保育所や幼稚園を見ていると、一番上の年ということで

すね。最初の3年保育の場合だったら3歳児ということなので、3、4、5ということは小学校に上がる前の保育所や幼稚園の人が対象ということでよろしいですね。だから今年中には6歳になるということですよ。

○会長 他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは次に小学5年生に関しての質問項目について、ご意見等がありましたら、お願いいたします。

○委員 全ての調査票にあるのですが、あなたの住まいはどちらですかということで、1つに○というのがありますが、高校は市外の方が多いと思いますが、5歳児とか小学生、中学生でしたら、普通は市内ですけれども、例えば宇多津の方から来るとか、丸亀の方から来るとか、附属でしたら他からもたくさん来ます。それを想定しての質問ということなんでしょうね。それは坂出市としての統計にしようとか、そういう考えで、ここにあてはまらない人もいるので書いていると、そういうことでよろしいですかね。

○事務局 おっしゃる通り附属幼小中学校にも調査をさせていただいてまして、調査結果の集計には坂出市外のもの外して行います。学校、保育所、幼稚園にはご協力いただいた分、集計結果を全ての学校にお返ししています。その際には、その学校全体の合計と、坂出市全体の学年の集計を比較できるような形でお返ししていますので、その関係で市内、市外という項目を追加させていただいています。

○委員 これは小学校だけではないと思いますが、やはり子どもというのは興味があって自分がやりたいことをやるのが一番喜ばしいことでもありますし、本人にとってもいいかなということがありまして。子ども自身が興味を持って、具体的に何か取組を行っているのかということを入れた方がいいのかなと思います。夢というのを大事にしているのか、していないのかを含め、そういう質問があった方がいいのではないかと思います。

○委員 これは小学校5年生と、中学2年生にも関連があるかもしれませんが、学校に行く前に嫌だなと思うことがありますかという質問についてですが、いじめの問題とか、学習障害の問題とか、学校で色々な問題、家庭の問題等もあるかもしれませんが、そういう問題が重要だと思うのですが、そういうことには触れられていないので、そこまで入れる必要がないから入っていないのか、それとも漠然とただお聞きしますということだけで聞いているのか。どういう意図でアンケートを取られようとしているのか。単に調べて終わりでは困るので、アンケートに対して、追跡して色々な問題を解決していくということが一番肝心なのではないかなと思います。その辺りの問題が入っていないのは、いかがなものかなと私は感じました。

○会長 他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは中学校2年生のアンケート質問票についてご意見がありましたら、お願いします。

○委員 SNS、インターネット、ゲームの問題が入っていますが、小学校の場合であれ

ば、親が注意して半分以上の子どもは聞き入れてくれるのではないかなと思いますが、中学生となったら、親が言ってもなかなか自主性が強すぎて、なかなか言うことを聞かないという話も聞きます。1時間以上とか、最高で4時間以上とかいうことであるのですが、たとえばそれで4時間以上という回答が返ってきた場合は、今後どのように対応されるのかなというところです。そこに住所と名前と電話番号でも入っていれば、訪問して、こういう解決をされたらどうですかとか言えますが、住所氏名、電話番号が分からない場合は、こういうのがありますというだけで終わるのかなと思ったりもします。そこは地域の人が苦勞してもらえないとは思いますが。

○会長 ちょっと別かもしれませんが、大学生を対象に調査した場合には、インターネットの利用時間が4時間5時間と増えると、不定愁訴が非常に多くなって、学業にも影響を及ぼしているという結果も出ていますので、そういったものも含めて、周知といたしましょうか、ただ時間が長いのは良くないよというだけではなくて、こういう影響があるよという、そういう認識を持っていただくというのは、とても大切かと思えます。ただ、委員さんがおっしゃるように、それについて、どこまで介入できるかというのは非常に難しいところではあります。やはりエビデンスを出していくというのは、非常に重要なことだなと思っているところがあります。

他にはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では次、高校2年生の質問票について、ご意見がありましたらお願いいたします。

○委員 高校生までのアンケートに共通するのですが、SNSとかテレビの利用時間というのを、このような1時間単位に刻んでいいものかどうかというのが素朴な疑問です。デッドラインがあるのであれば、それ以上、以下、利用する、しないというのは、項目を増やす必要があるのかなと。

○会長 1時間単位にしたのは、何らかの根拠がございますか。たとえば文部科学省の調査結果を参考にしたとか。

○事務局 文部科学省の根拠をもとにというのはなかったんですけども、実際に人それぞれ個人差があるのかなというところで、細かくしてみました。今、ご意見いただいて、ちょっと考えてみようかなと思っているところです。

○会長 後で相談しましょう。というのが、先程言いました大学生の文部科学省の結果だと、もう少し長い時間なんです。5時間程度というのがあるので、そのあたりで時間もたとえば1時間、2時間では本多委員さんがおっしゃったように、細かいところでの評価ができないと思うので、たとえば1～2時間とか3～4時間というふうに2時間幅にするとか、あるいはどこか閾値があるなら、それよりも少ないとか多いとかというふうにしてみるのもいいですね。

○事務局 補足ですが、毎年、学習状況調査というものを行っています。その質問にもネットの利用状況ですとか、あるいは学校でのいじめの状況などの調査もしております。そ

れは毎年内容が変わりますので、今年度の質問内容と今回の調査とで整合が取れるように調整したいと思いますので、よろしく願いいたします。

○会長 他はいかがでしょうか。

それでは続きまして 20 歳以上の市民に対するアンケート票について、なんらかのご意見等がありましたら、お願いいたします。

○委員 17 ページの間 61 ですが、あなたはこれまでの人生の中で本気で自殺したいと考えたことがありますかで、選択肢 1 も 2 も、自殺したいと思ったことがあるになっていますので、指摘させていただきます。

それと 8 ページの間 28 ですが、現在あなたはどれぐらい運動していますかという質問ですが、選択肢が週に 3～6 日食べるとか、1～2 日食べるとかになっているので、指摘させていただきます。

○委員 7 ページに食べ物を無駄にしないようにあなたは何らかの行動をしていますかというところなのですが、その中で、なんらかの行動をしているというのがあります。これ私でしたら、じゃあどんな行動をしているんですかということを知りたいです。今後の参考のためにと。

それから 9 ページの間 33-1 で、2 にストレスを感じるが、解消方法を持ち、実行しているというのがあります。これもものすごく興味があって、どんな解消方法をしていますかということも私だったら聞きたいです。この辺をご検討いただけたらと思います。

それから 16 ページの間 59-1 です。どこに相談しようと思いますかということで、2 の専門の医療機関、3 の専門の相談窓口という、この項目だけでは回答する方が、専門の医療機関というのはどこがあるんだろうとか、専門の相談窓口もどこへ行ったらいいんだろうとか、そういうこともあると思うので、この回答ができるように、ちょっと補足を入れたほうがいいのではないかなと思います。

委員 5 ページの食生活全般に関わることなのですが、1 世帯あたりの人員もかなり減ってきていますし、食材の購入方法を具体的に、誰がどういうふうに購入してとかいうのを入れた方がいいのかなと。車に乗れなくなる人も出てきていますし、夫婦 2 人で老後を過ごしているという方も多々おりますので、そこの調査というのにも必要かなと思います。

○会長 今の食材の購入方法というのは、直接スーパーマーケットやお店に買いに行くという方法もあれば、ネットで注文する、あるいは宅配のようなものを利用するとか、というようなことですね。他はいかがでしょうか。

○委員 1 ページの間 1 で、あなたの性別と年齢を教えてくださいで、回答しないというのがあるのは、LGBTQの方々に配慮してということですかね。分かりました。

○委員 15 ページの鬱や自殺対策についてということで、皆さんはご存じだと思うんですけど、コロナの関係で鬱病と統合失調症がここ 3 年でもものすごく増加しています。新規の鬱病や統合失調症の申し入れがどうしてこれほど増えたのかなというのを、真剣に考えて

いるところで、鬱病とか統合失調症、また自殺の対策について、もう少し細かく質問していただいて、汲み取れたらなと思っております。家族の問題だと言われればそれまでなんですけど、家族だけでは到底解決できるような問題ではございません。行政から親、親戚、兄弟、近所の人まで、みんなで問題を解決していただければ、それが自殺対策にも自殺防止にも役立つと思いますので、そこも汲んでいただいて、できれば1ページでも2ページでも増やしていただけるものなら増やしていただけたらと思います。

○**会長** 別府委員さん、たとえばでいいので、こんな項目をというのはいくつありますか。

○**委員** 本当に家族の方は悩まれています。たとえば民生委員やヘルパーのような方が行かれていれば、その方が感じとられるんだろうとは思いますが、そういう直接関わっている人以外の方は、どういう問題なのかということも分からないので、そこが分かるような質問があれば、次の手が打てるのではないかなとも思っています。しかし、どういう人がいるかということを知るのも、個人情報保護の関係で難しいところもあって、まずそういう人がいるか、いないかというようなことが質問で返ってきたら、何らかの手助けができるのかなと思っています。

○**事務局** 事務局側から気づいた点がありまして報告です。14ページの間56です。健康づくりに関係したボランティア活動を行っていますかというところですが、項目を見ますと、自然や環境保護に関する活動等も入れておりまして、特に健康づくりに特化しているわけではないなと思いました。なので健康づくりに関係したという文言は消したほうがいいかなと思いましたので、これも協議させてもらいたいと思っています。

○**委員** 4ページですけれども、私は商工会議所にいまして、従業員さんの健康が最大の資源であり、そこが立ち行かなくなると、経営も立ち行かなくなるということで、国はもちろん、商工会議所もアピールしていますが、なかなか浸透していない状況です。

そこで4ページに書いているような診査とか診断について、勤めている会社から干渉または斡旋があるのかどうか、勤務先で健康は重要なんだよというような啓発があるのかどうか、経営者からのアプローチがあるのかどうか、こういったことが分かれば、次の打つ手にもつながるかなと思っておりました。

○**会長** 日々の健康管理というのは、非常に大切だと思います。他はいかがでしょうか。

ありがとうございます。それでは今日、委員会でいろいろご意見をいただきましたので、この後の作業は事務局から説明していただけますか。

○**事務局** この後は本日ご欠席の委員さんのご意見も伺えればと思っております。また、本日ご来席の委員の皆様も、今日の委員会での他の委員の皆様からのご意見などをお聞きして思うところがございましたら、8月31日までに事務局までお寄せいただければと思います。そして欠席されている委員の皆様からいただいたご意見とも合わせまして、会長と事務局で、アンケート調査の中に採用して盛り込んでいくかどうかを検討してまいりたいと考えております。



○**会長** ありがとうございます。事務局への連絡は電話でもいいですか。電話、メール、ファックス、なんでもいいでしょうか。

○**事務局** どのような形でも結構ですので、お寄せいただければと思います。

○**会長** 委員のみなさんも、また後で見直していただいて、お気づきの点がありましたら、今月末までに事務局までお知らせいただければと思います。

委員の皆様方の意見をなるべく取り入れたいとは思いますが、全てを取り入れるということにはできないかもしれないということも、ご了承いただければと思います。

では質問票については、以上でよろしいでしょうか。ありがとうございます。

では次の議題、今後のスケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

○**事務局** 【資料説明】

○**会長** ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明に関しまして、ご意見、ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

最後にその他について、事務局から何かあるでしょうか。その他、委員の皆様から、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

では本日の議題はこれで全て終了いたしました。議事運営にご協力いただき、ありがとうございました。

○**事務局** 長時間にわたりまして協議会のご審議を賜り、誠にありがとうございました。本日いただきましたご意見を踏まえ、調査票を作成いたしまして、調査を実施いたしたいと存じます。次回の協議会のほうも、何卒よろしく願います。

以上をもちまして閉会といたします。ありがとうございました。